

A dark, textured map of East Asia, including China, Korea, and Japan, serves as the background. The map is rendered in shades of brown, green, and blue, with a slightly grainy, historical feel.

中国の文化Ⅲ

日中文化交流史

第十四回 今日の日中関係

A stylized, dark-toned map of East Asia, including mainland China, Korea, and Japan, serves as the background. The map uses muted colors like olive green, brown, and dark blue to represent land and water respectively. The title '目次' is centered in the upper half of the image.

目次

第一節 歷史問題

第二節 領土問題

第三節 台灣問題



第一節 歷史問題

一九七五年以来、天皇家は靖国神社を親拝していない。
なぜなのか？



首相の靖国参拝

〔解説〕

戦後、吉田茂をはじめとする歴代の首相は、靖国神社の例大祭への参拝を行ってきた。一九七五年には三木武夫が首相として初めて終戦記念日に参拝を行っている。

ところが、一九八五年に中曽根首相が参拝すると、中国はこれを強く非難した。





首相の靖国参拝

〔解説〕

一九七二年には日中国交正常化が
実現し、七八年には日中平和友好条
約も締結された。

日中関係が改善されたこの時期に
は、中国はなぜ中曽根首相の参拝を
非難したのか？





靖国問題を予測していた昭和天皇

〔解説〕

政府が中国側の意図を測りかねている中、この問題をいち早く予測し、靖国神社への親拝を取りやめていた人物がいた。昭和天皇である。



元宮内庁長官が記した昭和天皇の心

〔解説〕

天皇は、戦後八回にわたり靖国神社への親拝を続けてきた。ところが、一九七五年以降、これを取りやめた。

その理由についてはさまざまな憶測が流れていたが、二〇〇六年、元宮内庁長官・富田朝彦（ともひこ）の手帳から、昭和天皇自身がその理由を語ったメモ（一九八八年四月二八日付）が発見された*。

*日本経済新聞二〇〇六年七月二十日朝刊



「富田朝彦メモ」

「私は或る時に、A級が合祀され
その上松岡*、白取*までもが」

「富田朝彦メモ」一九八八年四月二八日より

*松岡洋右(一八八〇〜一九四六)外務大臣。日本
の国際連盟脱退、日独伊三国同盟の締結に関与
し、戦後、A級戦犯として訴追され、公判中に
病死。

*白鳥敏夫(一八八七〜一九四九)外交官。駐イタリ
ア大使時代に、駐ドイツ大使であった大島浩と
ともに日独伊三国同盟を推進。戦後、A級戦犯
として終身禁固刑の判決を受けた。

4.28 (4)

おにあってね どうしてだろう
中絶の跡日 夢 拜もあってね。
藤庭(文相)の発言。

= 興野は家にとまうと思つた
バランス感 更のことと思つ
半ばは復古ではな...とも。

私は 或る時は、A級が
合祀され その上 松岡、白取
までもが。

筑波は小島... 文相として
くたは... 文相。

松平の予め 今の高司... どうして
之が... 易々と

松平は 予めには... 予め
あつたと思うのに 親の予め
ら... と思っている

文相の予め... 予め
... 予め

予め... 予め
予め... 予め

「富田朝彦メモ」

「筑波*は慎重に対処してくれたと聞いたが松平の子*の今の宮司がどう考えたのか易々と松平は平和に強い考えがあつたと思うのに親の心子知らずと思つてゐるだから私あれ以来参拝してゐないそれが私の心だ」

「富田朝彦メモ」一九八八年四月二八日より

*筑波藤鷹(一九〇五〜七八)：元皇族。一九四六年、靖国神社宮司となつたが、在任中はA級戦犯の合祀を行わなかつた。

*松平永芳(一九一五〜二〇〇五)：元海軍軍人。一九七八年、靖国神社宮司に就任すると、A級戦犯十四名を合祀した。

4.28 (4)

おににあってね どうにかなう
中絶の跡の参拝もあってね。
藤鷹(文相)の発言。

= 興野は家にとまうと思つて
バランス感、更のことと思つ
半ばは復讐ではなかつた。

私は 或る時は、A級戦犯の
合祀をなし、その上 松平、伊藤
までいふ。

筑波は小皇族：文相として
くたはつた。

松平の子の今の宮司のどうして
之なのかい 易々と

松平は 平和に強い考え
あつたと思つたのに 親の心子知
らずと思つてゐる

文相の松平の永芳参拝
しといふ。それと松平の心

・ 文相の松平の永芳参拝しといふ。それと松平の心

元宮内庁長官が記した昭和天皇の心

〔解説〕

このメモが発見された当時、その
信憑性を疑う声も出た。

しかし翌二〇〇七年、侍従・卜部
亮吾の日記が公刊され、その中にこ
のメモを裏付ける記述があることが
明らかになった*。

*『朝日新聞』二〇〇七年四月二六日朝刊



『ト部亮吾侍従日記』

「お召しがあったので吹上へ。長官
拝謁のあと出たら靖国の戦犯合祀と
中国の批判・奥野発言*のこと」

ト部亮吾侍従日記一九八八年四月二八日より

『昭和天皇最後の側近ト部亮吾侍従日記』

(朝日新聞出版、二〇〇七年)



昭和天皇最後の側近

ト部亮吾侍従日記

――第1巻――昭和45年～昭和59年――

監修 御厨 貴
岩井 寛己

朝日新聞社

奥野発言

〔解説〕

一九八八年四月二二日、当時国土庁長官であった奥野誠亮（おくのせいすけ）は、閣僚の靖国神社参拝についての中国の批判に対し、「参拝が公人が私人かでいま問題になっているが、戦後四十三年たったのだから、もう占領軍の亡霊に振り回されることはやめたい」「白色人種がアジアを植民地にしていた。それが、日本だけが悪いことにされた」などと発言した。

その後、奥野は別の問題発言で国土庁長官を辞任した。



奥野誠亮(1913～2016)

なぜ昭和天皇は合祀に反対したのか

〔解説〕

昭和天皇はなぜA級戦犯の合祀に反対したのか。

その理由について、昭和天皇の和歌相談役であった岡野弘彦は、二〇〇六年に出版した『昭和天皇御製・四季の歌』の中で、一九八六年に元侍従長の徳川義寛から聞いたという次のような話を紹介している。

岡野弘彦(國學院大學名誉教授 1924～)

『昭和天皇御製・四季の歌』

「（A級戦犯を）合祀せよという意見がおこってきたとき、お上は反対の考えを持っていたいました。理由は二つあって、一つは国のために戦に臨んで戦死した人々のみ魂を鎮め祭る社であるのに、その性格が変わると思います。もう一つは、あの戦争に関連した国との間に将来、深い禍根を残すことになるとお考えなのです。」

岡野弘彦『昭和天皇御製・四季の歌』

（同朋舎メディアプラン、二〇〇六年）



『昭和天皇御製・四季の歌』

「そのお上のお気持ちには、旧皇族のご出身の筑波（藤麿）宮司はよくご承知で、ずっと合祀を抑えてこられたのですが、筑波宮司が亡くなられて、新しく松平（永芳）宮司になると、すぐ、お上の耳に入れることなく、合祀を決行してしまいました。それからお上は、靖国神社に参拝なさることともなくなりました」

岡野弘彦『昭和天皇御製・四季の歌』

（同朋舎メディアプラン、二〇〇六年）



A photograph of three men in suits standing outdoors. The man on the left is younger, the man in the center is older with glasses, and the man on the right is middle-aged. They are all looking slightly to the right. The background is dark and out of focus.

昭和天皇は、靖国神社へのA級戦
犯の合祀が、戦争の被害国との間に
禍根を残すことを予測して親拝を止
めた。

それ以来、天皇家は靖国神社の親
拝を行っていない。

歴史問題にどう向き合うべきか

〔解説〕

日本は一九五一年、サンフランシスコ平和条約で「極東国際軍事裁判所並びに日本国内及び国外の他の連合国戦争犯罪法廷の裁判を受諾」した。

また七二年の日中共同声明では、「過去において日本国が戦争を通じて中国国民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する」ことを約束した。

天皇家は、日本が国際社会と交わした約束を忘れず、信義を守ること示すために靖国親拝を止めたのである。



第二節 領土問題

日本の領土問題

〔解説〕

日本は周辺国との間で三つの領土問題を抱えている。

ロシアとの間の北方領土問題、韓国との間の竹島問題、中国・台湾との間の尖閣諸島問題である。



尖閣諸島は古来、日本固有の領土
だというのが、いつから日本の領土に
なったのか？



尖閣諸島は琉球国と中国の国境の島

〔解説〕

尖閣諸島は、一八七二年に琉球国が琉球藩に改められ、七九年に沖縄県が設置されるまで、琉球国と中国との国境の島であった。

江戸時代に林子平が編纂した『三国通覧図説』（一八七五年刊）には、日本と琉球と中国との関係が、左図のよう描かれている。



二十五度

二十四度

二十三度

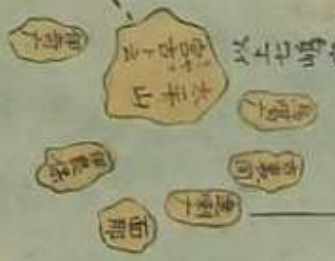
此三至七日本程
日本道十六里

以上七島官古支配三琉球特

以上八島(重山支配三琉球特)



姑米山



南

北海道四十里 日本道二百四十里

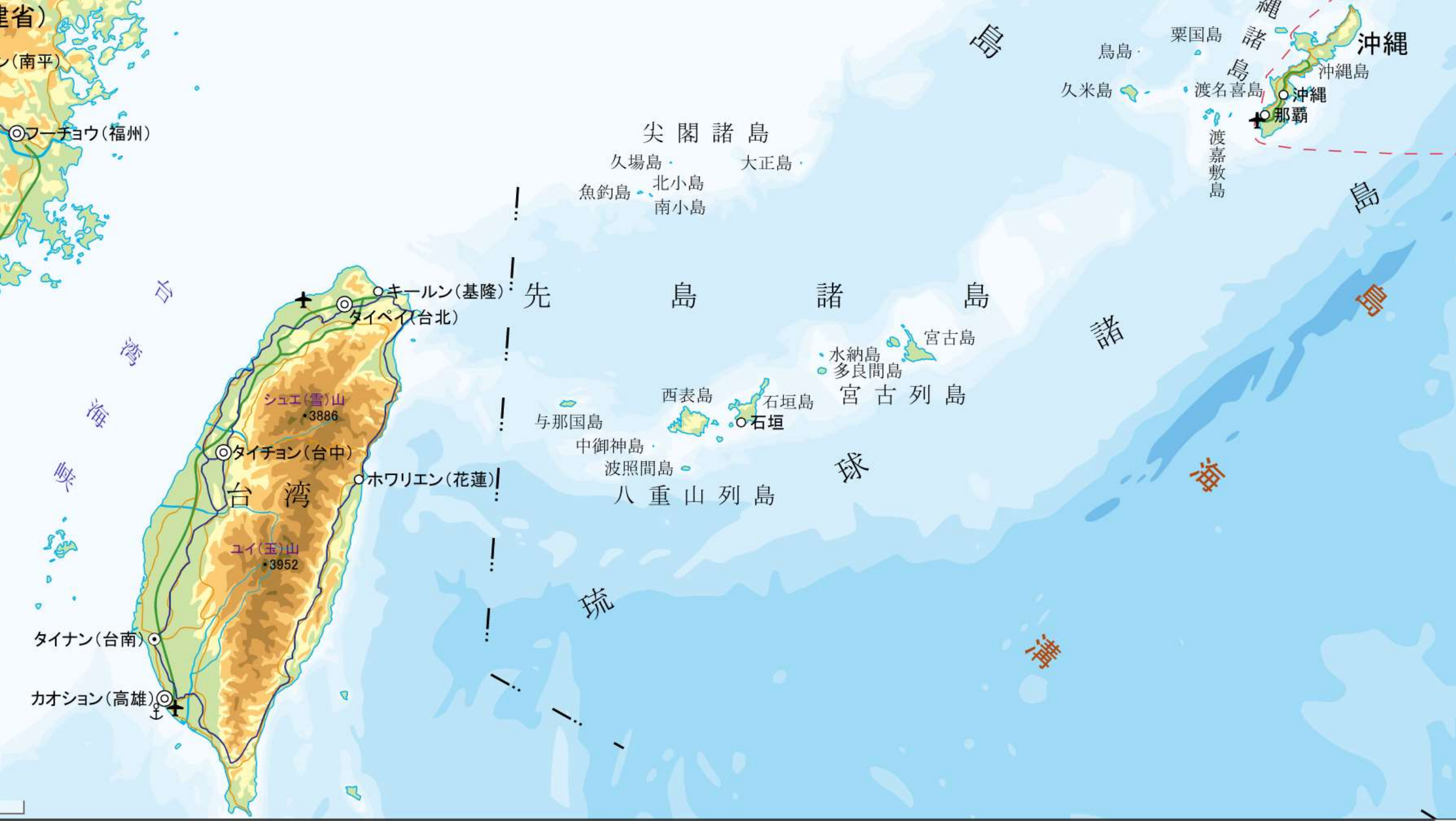
巨蟹田歸線

臺灣三縣之圖



福建省

廣東省



「分島増約案」

〔解説〕

日本が琉球を廃止し、沖縄県を設置すると、宗主国である清は国際法に違反するとして強く抗議した。日本はこの問題を解決するため、元米大統領グラントの仲介により、清に分島増約案*を提示した。

*分島増約案：宮古・八重山を割譲する代わりに、一八七一年に結ばれた日清修好条規に「一体均霑」（最恵国待遇）の条項を加えるという案



日清戦争と琉球・尖閣の帰属問題

〔解説〕

「分島増約案」は、琉球人が抗議の自殺をしたこともあって調印には至らず、琉球の帰属問題は未解決のままとなった。

それから十五年後、日本は日清戦争に勝利し、台湾を領有した。日本の領土が台湾にまで拡大したことで、その東にある琉球や尖閣諸島の帰属問題は曖昧なまま解決となった。



尖閣諸島問題

〔解説〕

一九四五年、アジア太平洋戦争は日本の敗北に終わった。

日本はポツダム宣言に従い、台湾を中国に返還したが、尖閣諸島については、どの国にも属さない無人島であったとして実効支配を続けた。

これに対し、中国と台湾は一九七一年以降、同諸島（中国名＝釣魚島）の領有権を主張し始めた。



ANN

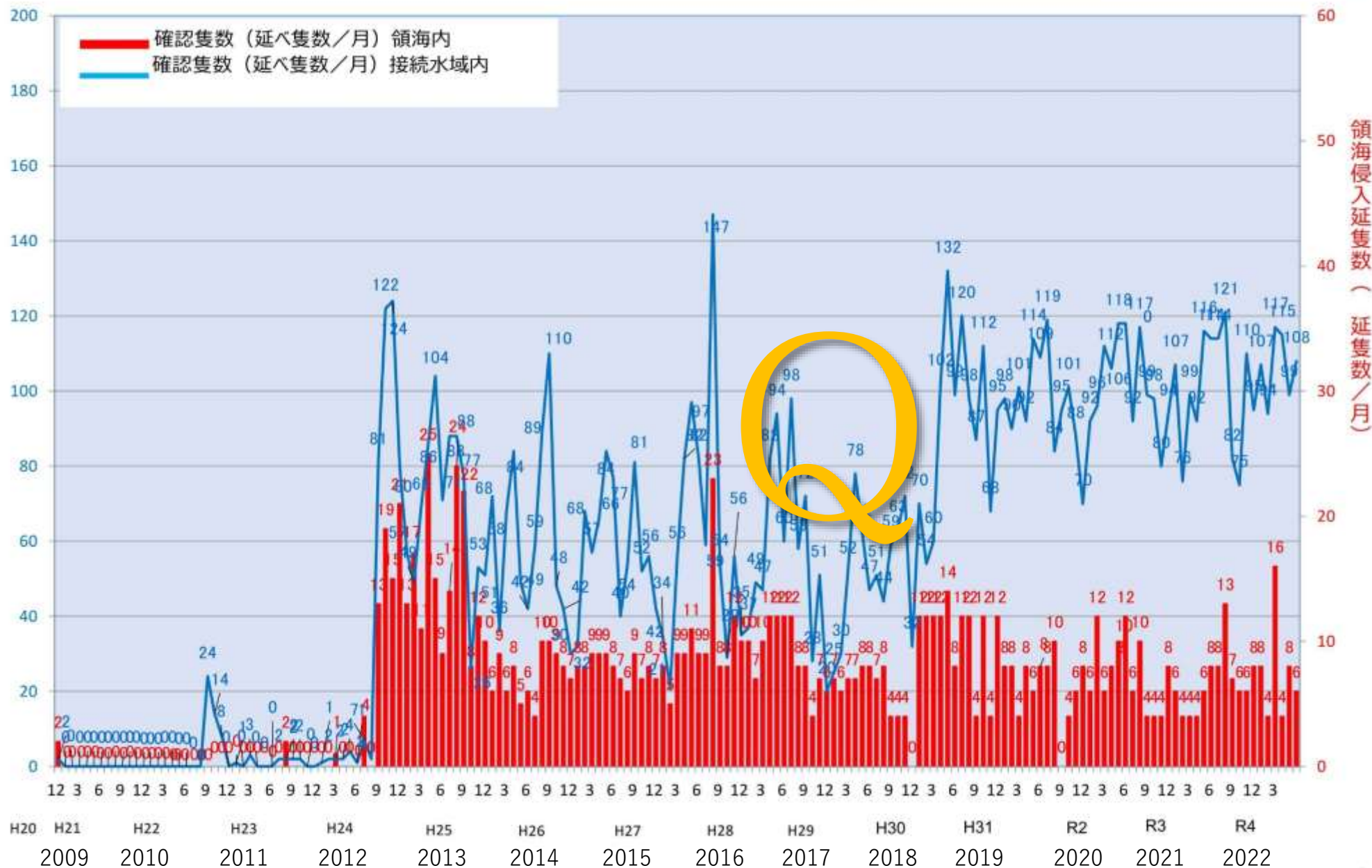
NEWS

撮影:第十一管区海上保安本部



「中国船『海警』4隻が尖閣諸島沖の日本領海初侵入」 (ANNニュース 2013年7月26日)

接続水域内確認隻数（延隻数／月）



二〇一二年九月以降、中国海警局に所属する船舶の尖閣周辺への侵入が急増した。なぜ急増したのか？

尖閣諸島問題

〔解説〕

二〇一二年四月、当時東京都知事であった石原慎太郎が、ワシントンのヘリテージ財団主催のシンポジウムで、東京都が尖閣諸島の購入を計画していることを発表した。



heritage.org

石原慎太郎東京都知事(1932-2022)





森 葉子

吉澤 一彦

「『尖閣諸島を買います』石原都知事が米での講演で」 (ANNニュース 2012年4月17日)

尖閣諸島問題

〔解説〕

民主党政権の野田内閣は、東京都による尖閣諸島購入が中国との外交問題に発展することを避けるため、予備費二〇億五〇〇〇万円を支出し、二〇一二年九月、尖閣諸島の国有化を決めた。

野田佳彦首相(1957-)

尖閣諸島問題

〔解説〕

ところが日本政府の予想に反して、中国では尖閣諸島の国有化に抗議するデモが全土に拡大し、日系のスーパーや工場が略奪や放火に遭うなど日中関係は「国交正常化以来、最悪」ともいわれる事態となった。



尖閣諸島問題

〔解説〕

実は当時、中国国内では次期最高指導部を決める共産党大会を前に、党内で権力闘争が繰り広げられていたという。

尖閣諸島の国有化に抗議するデモは、胡錦濤指導部に大きな痛手となり、国民の怒りを鎮めるため、海警局の船を尖閣諸島の周辺海域に派遣した。



習近平副主席(左)と胡錦濤主席(右)

訪日客の増加と対日イメージの改善

〔解説〕

その後、習近平が党総書記・国家主席・国家中央軍事委員会主席に選出され、党・国家・軍の三権を掌握すると、日中関係は再び改善の方向に向かった。

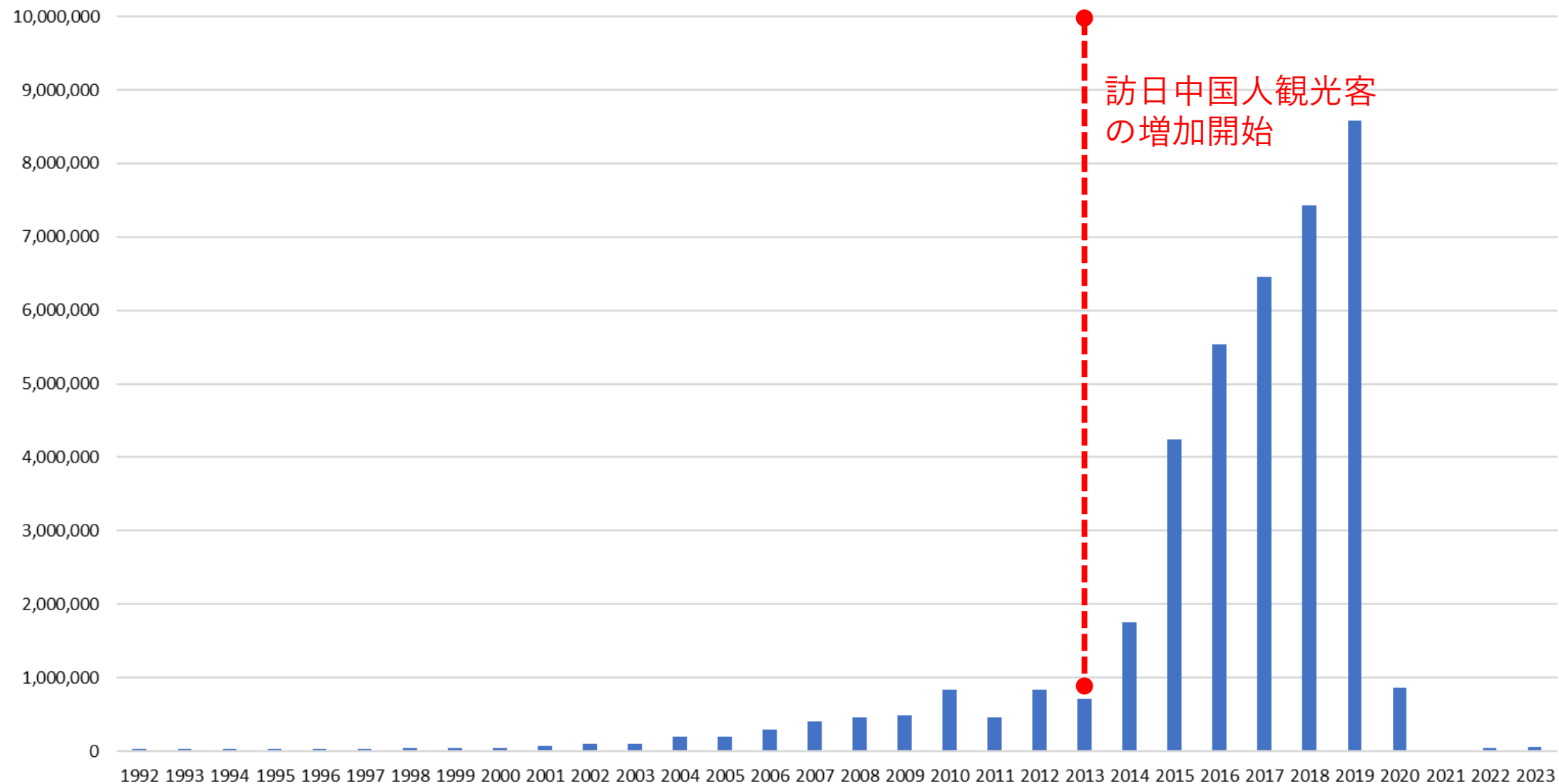
日本政府が中国人のビザ取得要件を緩和すると、訪日中国人観光客も急増し、中国の人々の対日イメージも改善された。



習近平国家主席

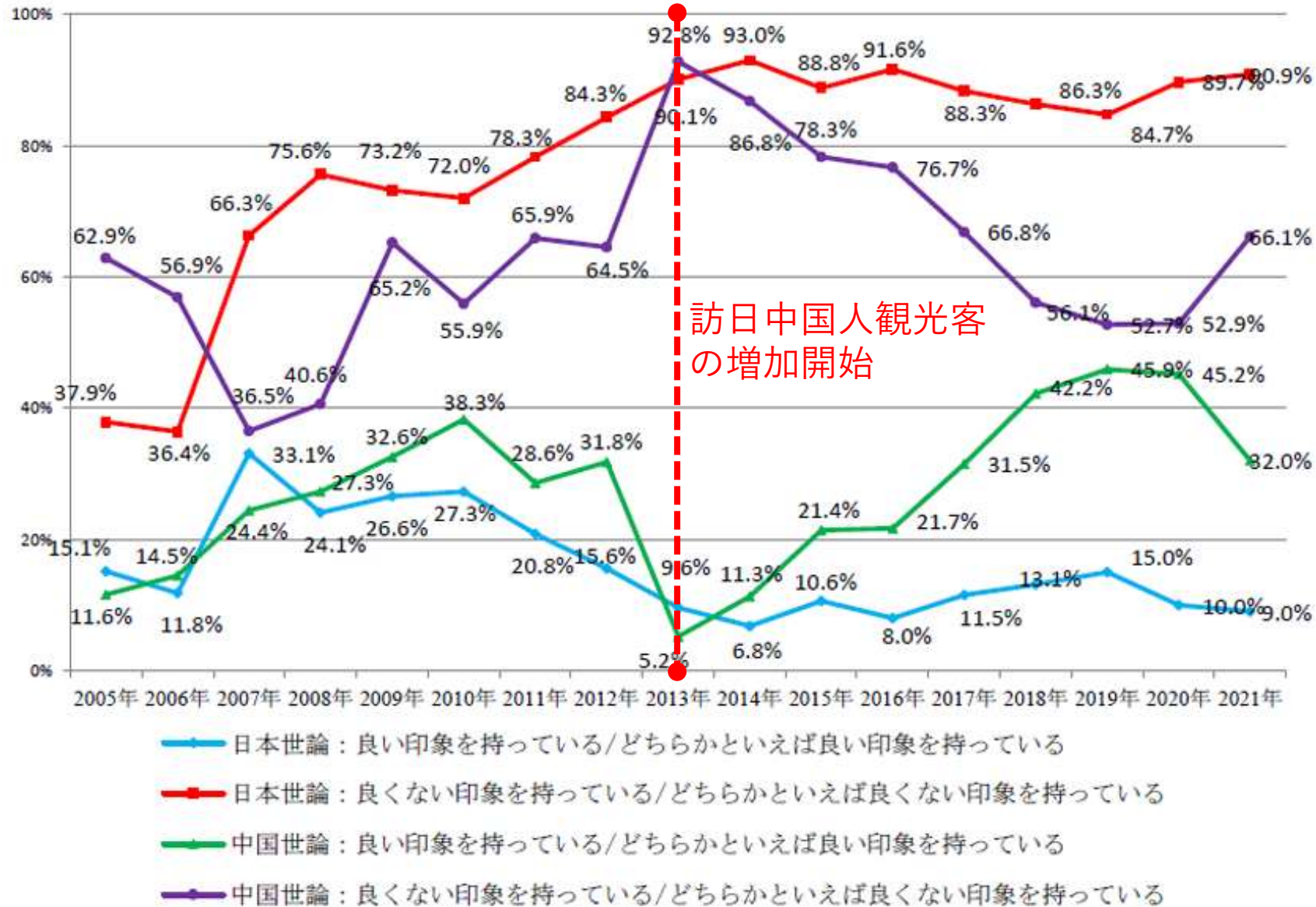
訪日中国人観光客の推移（1992-2013）

日本政府観光局(JNTO)のデータをもとに作成



日本と中国の相互イメージの推移(2005-2021)

〔出典〕 言論NPO「第17回日中共同世論調査」より





第三節 台灣問題

台湾有事

〔解説〕

二〇二一年三月、米国インド太平洋軍デービットソン司令官（当時）が上院軍事委で「（中国の台湾に対する）脅威が六年以内に明らかになる」と証言した。



ANN
NEWS



「米司令官『中国の台湾への脅威が6年以内に明白に』」 (ANNニュース 2021年3月10日)

核共用

〔解説〕

台湾有事への危機感は、翌二〇二二年二月、ロシアがウクライナに侵攻したことで現実味を増した。

さらに核保有国であるロシアがその使用にも言及したことで、日本国内では米国との「核共有」を唱える声も上がった。



「安倍氏『核共有の議論を』 政府は『非核三原則』堅持」 (TBS NEWS 2022年3月3日)

「解説」
実は、日本への核配備は、米国もかつて計画したことがあった。しかし日本の反核運動の高まりにより、日本本土への配備は断念し、沖縄に核ミサイルを配備した。沖繩は一九七二年まで、米軍の施政権下にあったからである。

沖繩への核ミサイル配備

琉球政府(1952-72)



9:00

NHK G

NHKスペシャル「沖縄と核」(2017年9月10日放送)

核ミサイルは、操作ミスなどで誤
発射されることはないのか？

Q



スクープドキュメント
沖縄と核

NHK G

NHKスペシャル「沖縄と核」(2017年9月10日放送)

核兵器禁止条約

〔解説〕

核兵器については、二〇一七年、国連総会で核兵器禁止条約が採択され、二〇二一年、発効した。現在六ヶ国が批准している。

唯一の被爆国である日本が、核廃絶の流れに逆行して、核共有を議論するようになったことは、憂慮すべきことであろう。



日中共同声明

〔解説〕

では、台湾有事という脅威に、日本はどのように向き合えばいいのだろうか。

一九七二年の国交正常化の際、日中両国は台湾問題について次のような声明を発表している。



田中角栄首相(左)と周恩来首相(右)

日中共同声明

二 日本国政府は、中華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府であることを承認する。

三 中華人民共和国政府は、台湾が中華人民共和国の領土の不可分の一部であることを重ねて表明する。日本国政府は、この中華人民共和国政府の立場を十分理解し、尊重し、ポツダム宣言第八項に基づく立場を堅持する。



田中角栄首相(左)と周恩来首相(右)

日中共同声明

〔解説〕

さらに紛争が現実となったとき、日本はこれをどのように解決すればよいのだろうか。

これについて、日中両国は共同声明の中で次のように確認している。



田中角栄首相(左)と周恩来首相(右)

日中共同声明

六 日本国政府及び中華人民共和國政府は、主権及び領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵並びに平和共存の諸原則の基礎の上に両国間の恒久的な平和友好関係を確立することに合意する。

両政府は、右の諸原則及び国際連合憲章の原則に基づき、日本国及び中国が、相互の関係において、すべての紛争を平和的手段により解決し、武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する。



日中共同声明

〔解説〕

核共有は実現しなかったが、台湾有事が現実となれば、日本も二〇一五年に安倍政権のもとで成立した安保法制に基づき、米国などと集団的自衛権を行使する可能性がある。

こうした事態を避けるためにも、日中国交正常化時の原点に立ち戻り、紛争回避の外交努力を続けるべきであろう。



田中角栄首相(左)と周恩来首相(右)

五 日本国憲法

平和憲法の力

日本には、戦後、平和国家へと生まれ変わった証となるものが。日本国憲法第九条*である。

これは紛争の抑止力になりうるのだろうか。



*日本国憲法第九条

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

五 日本国憲法

裕仁

昭和二十一年

周辺国から見た平和憲法

〔解説〕

こうした日本の平和憲法を、周辺国の人々はどのように見ているのだろうか。二〇一三年、北朝鮮から母子で亡命した母親が、新聞の投書欄にこんな一文を寄稿している。

五 日本国憲法

(声) 9条改正は外国人にも不安

リ・ソラ (東京都江東区四十二)

北朝鮮から子どもと来て四年が経ちました。日本に来る前、保護されて中国に一年間いました。日本行きを知った小学生の子どもが「怖い国には行かない」と泣きながら強く抵抗しました。子どもは幼い頃から北朝鮮で日本植民地下の残酷さをテレビや学校で見聞きしていたからです。私も同じ不安な気持ちでした。

(声) 9条改正は外国人にも不安

(朝日新聞二〇一三年五月十八日朝刊)

五 日本国憲法

裕仁

(声) 9条改正は外国人にも不安

リ・ソラ年(東京都江東区四十二)

私たちは生き延びるために日本を選んだのですが、着いてから恐怖感
はさらに高まりました。日本は高度
な経済と技術を持っています。歴史
的に見ても発展国が非発展国を侵略
した例が多いからです。

(声) 9条改正は外国人にも不安

(朝日新聞二〇一三年五月十八日朝刊)

五 日本国憲法

(声) 9条改正は外国人にも不安

リ・ソラ (東京都江東区四十二)

不安な日々の中で、大学の通信教育部で法律の勉強をしました。去年、憲法のスクーリングで初めて日本憲法九条の授業を受けました。目を大きくして耳を傾けて聴きました。うれしかったです。私が日本に来た答えが確実に見つかったような気がしました。

(声) 9条改正は外国人にも不安

(朝日新聞二〇一三年五月十八日朝刊)

五 日本国憲法

(声) 9条改正は外国人にも不安

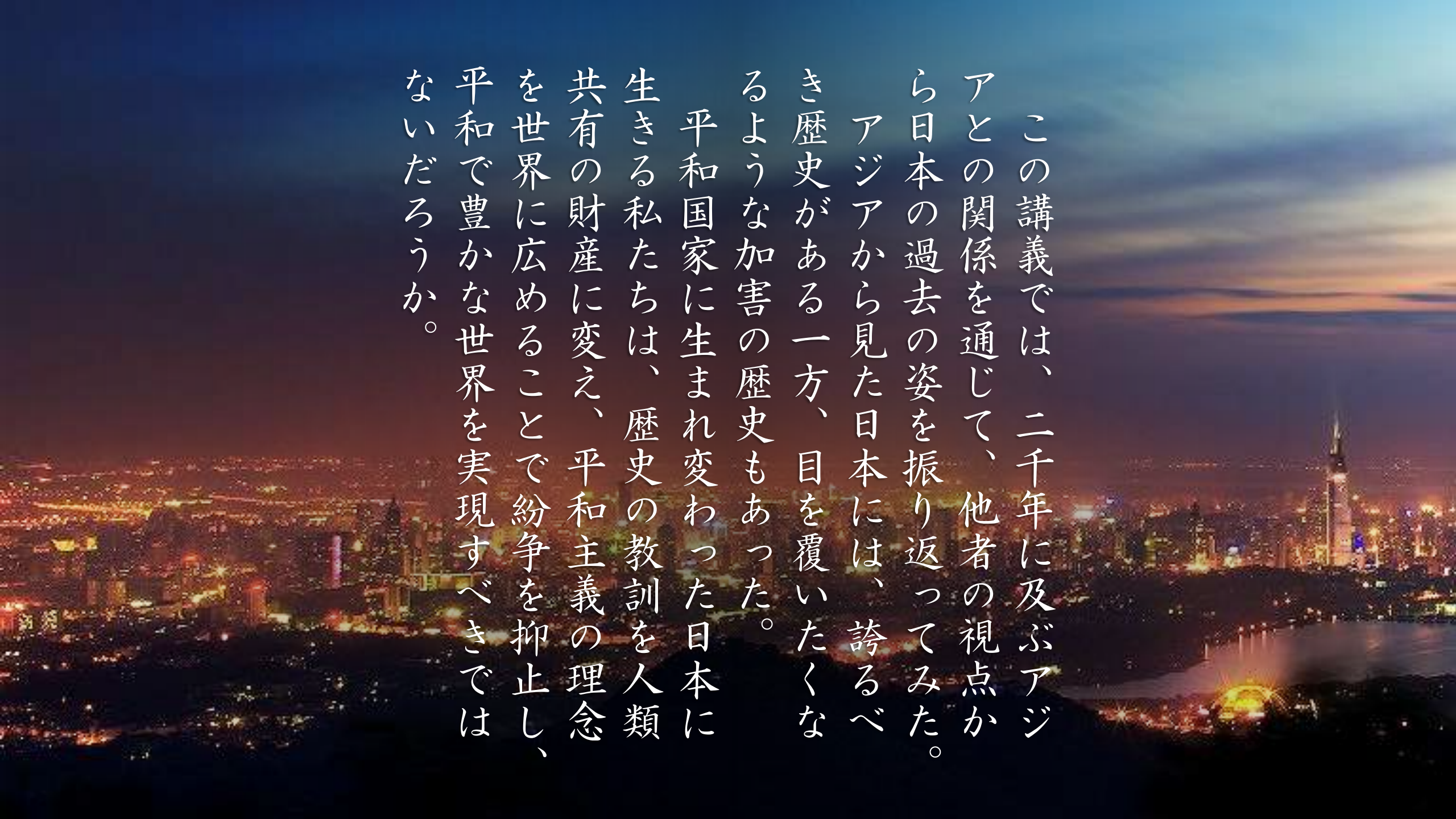
リ・ソラ (東京都江東区 四十二)

早速、子どもにも憲法九条の話をしました。「日本人も戦争で大事な家族を失い、二度と戦争をしないことを憲法で明確に定めている。安心していいよ」。目を見て子どもが安心したのを感じました。

日本の憲法は世界中が手本にすべきだと思いますが、最近、九条改正が議論になり、再び不安になりそうです。

(声) 9条改正は外国人にも不安

(朝日新聞二〇一三年五月十八日朝刊)



この講義では、二千年に及ぶアジアとの関係を通じて、他者の視点から日本の過去の姿を振り返ってみた。

アジアから見た日本には、誇るべき歴史がある一方、目を覆いたくなくなるような加害の歴史もあった。

平和国家に生まれ変わった日本に生きる私たちは、歴史の教訓を人類共有の財産に変え、平和主義の理念を世界に広めることで紛争を抑止し、平和で豊かな世界を実現すべきではないだろうか。